

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

数値は%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか。	92	8		活動ごとに部屋を分けている。 児童に分かり易い配置を行っている。
	② 職員の配置は適切であるか。	85	15		非常時に備え十分に職員を配置したい。
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか。	100			コーナガードなど整備し安全に留意している。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	77	23		
	⑤ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか。	100			自己評価の集計を職員全体で検討し改善に努めている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか。	100			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	46	46	8	
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	92	8		研修内容を職員全体に伝達できる時間が確保できると尚良い。 放課後デイの児童との関わりで悩むことも多い為、放課後デイ向けの研修にも参加したい。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るため標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	85	15		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	85	15		委員会を設け職員間で立案できるよう努めているが、会議の時間を確保する事が難しいこともある。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	100			運動は週間ごとにプログラムを変えて行っている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	85	15		個別の課題調整を職員全体で把握できると良い。 長期休暇は療育時間も長くなるため、飽きがちになる。新しい活動を計画し楽しめるようにするのも良いと思う。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	92	8		
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100			毎日朝礼で打ち合わせをしている。	

	①⑥	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援振り返りを行い気付いた点を共有しているか。	92	8		時間の確保が難しく、共有したいが伝えられない時がある。
	①⑦	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援計画の検証・改善につなげているか。	75	25		連絡帳で記録しているが検証、改善まで繋ぐまでの時間の確保が難しい場合が多い。
	①⑧	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	100			
	①⑨	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。	100			
関係機関や保護者との連携	②⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	70	30		コロナ禍の為、電話にて情報共有をしている。
	②⑪	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100			
	②⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。				該当児童なし
	②⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	70	15	15	情報共有できる場を設けたい。
	②⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報と提供する等しているか。	77	23		必要に応じて情報提供をしている。
	②⑮	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか。	46	46	8	県の研修に参加している。
	②⑯	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	8	39	53	
	②⑰	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	38	54	
	②⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100			
	②⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	83	17		要望に応じてペアレントトレーニングを行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	100			契約時に説明をしている。
	③⑪	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	23	8	69	要望も多いので開催したい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合迅速にかつ適切に対応しているか。	100			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	77	23		SNSを使用している。
	③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100			書類が多くなっている為整理していきたい。
	③⑯	障害のある子どもの保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	31	15	54	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	92	8		
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100			年2回以上防災訓練を実施している。地震、火災、洪水など様々な災害を想定し行っている。
	④①	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100			
	④②	どのような場合にやむ負えず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。	100			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100			イベントなど必要の際は保護者様に確認をしている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100			その都度作成、職員全体に周知し改善に努めている。